



プロジェクト名称

## Candle night

プロジェクト活動概要

現代の人は仕事などで忙しい毎日を送っています。そこで、夏至と冬至の夜の 2 時間だけ、でんきを消して人々にスローな夜を提供しようと活動を行っております。

2011 年は東日本大震災が起こったことにより、日本のエネルギー問題が露わになりました。これを機に人々にでんきの明るさだけに頼るのではなく、ろうそくの明かりの大切さと脱・原子力運動を知り、省エネやエコについての考えを増やしてほしいと願っています。

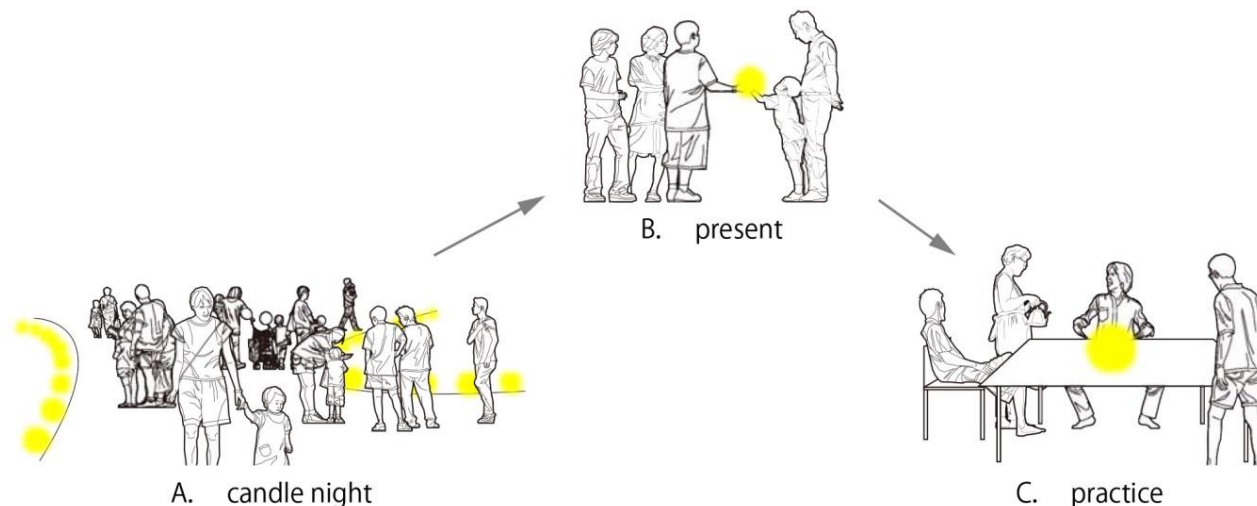
夏至には芝浦工業大学大宮キャンパスで、冬至にはアトレ川崎でキャンドルナイトを行っており、また、地域交流として地域の方々にワークショップを開き、ろうそくの身近さを知っていただく機会を設けます。

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2014 年 10 月 1 日 ~ 12 月 31 日

### ■candle night の活動コンセプトフロー

- A. candle night に足を運んでいただき、作品に触れることで、火の良さを知って頂く。
- ↓
- B. アンケートに答えていただき、キャンドルをプレゼント。
- ↓
- C. 帰宅後「でんきを消してスローな夜を」体験して頂く。

上記の流れで、キャンドルを持ち帰って頂き、実際に家で灯すことによって、家族と火の良さを分かち合い、エコや節電について考える機会を創出する。





## 1) candle night @ Tamachi campus

■実施日時：2014年11月21日（金）19:00~21:00

■実施場所：芝浦工業大学 芝浦キャンパス 1F

■テーマ：日常・癒し・非日常

芝浦キャンパスのある田町駅周辺は、日々オフィスワーカーが行き交い、忙しく歩いている。朝早く大勢の中に紛れながら通勤し、昼は食事処が満席になり、夜は明るい街灯を横目に帰るといふ何気ない一日の流れ。ここには単調な日常が常日頃存在している。私たちはそんな[日常]に対し、ろうそくの灯かりという[癒し]をツールとし、[非日常]を表現します。

■目的

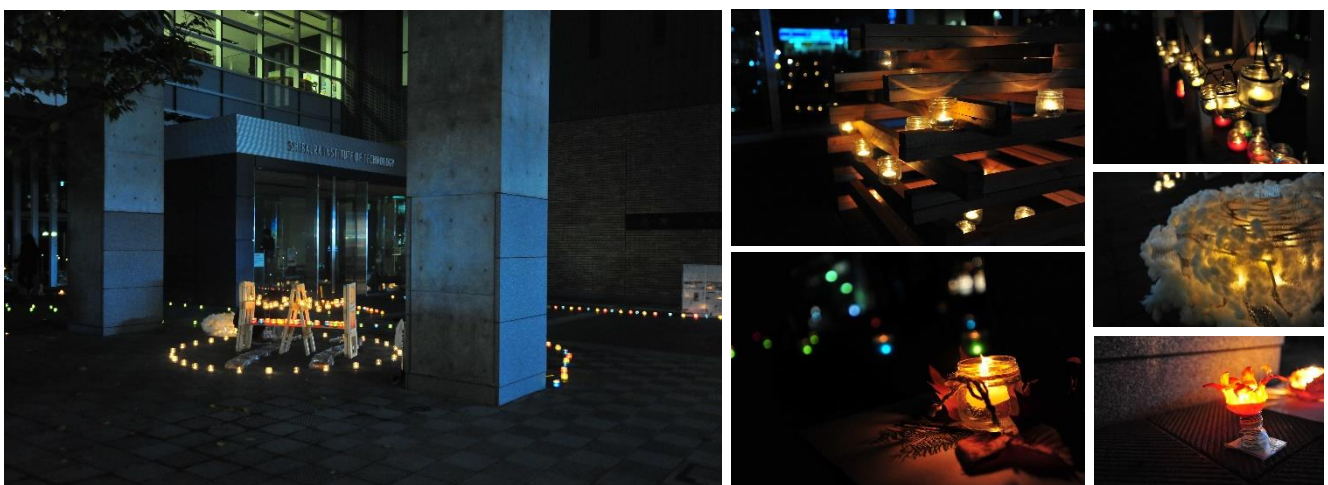
2011年～活動を開始して以来、初めての開催地となる芝浦キャンパス。芝浦工業大学のもつ、3キャンパスの中でも正面玄関の前を通過する人々の量が多く、そのままでも宣伝効果を見込むことができる場所である。そのため、より多くの方々に見ていただくことができ、芝浦工業大学並びに、学生プロジェクト candle night として認知度の向上につながると考えた。

■イベント内容

【キャンドルインスタレーション】

作品の材料は一般的にゴミとして捨てられているものを使用。PET ボトルや空き瓶、新聞紙、空き缶等を用いることで、各作品が再利用による作品であることを伝え、テーマとなる「日常」ということにもつながる。「日常」として使われる材料を用いることにより「非日常」という印象をより身近に感じてもらえるかと考察した。

■イベント当日の様子





## 2) candle night @ atre KAWASAKI

■実施日時：2014 年 12 月 20 日（土）17:00~20:00

21 日（日）17:00~20:00

■実施場所：atre KAWASAKI 5F スカイコート

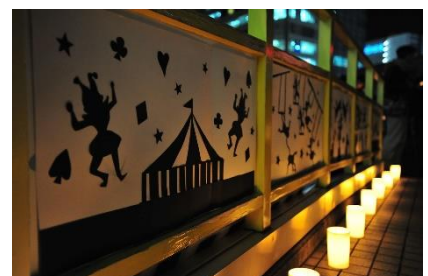
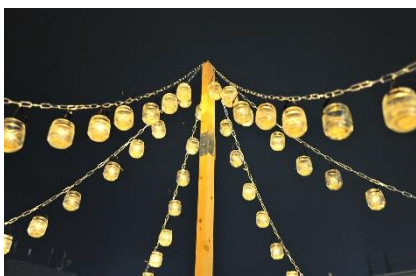
■テーマ：CIRCUS ~サーカス~

動物を使った芸や人間の曲芸など複数の演目で構成される見世物として古くから催されてきた。人々は今までに見たことのない動物人間の動きに魅了される。いつの間にかそこには人が集まり、喚起し、感動が生まれる。もしも、この世に動かないサーカスがあるとしたらどうだろう。それはテントの幕をくぐった先にある静寂と癒しを持った空間が教えてくれる。

### ■内容

2012 年度から例年開催させていただいている、atre 川崎でのキャンドルナイト。例年ご好評いただき、今年で 3 回目の開催となりました。芝浦工業大学キャンドルナイトとして 2014 年度の集大成をここで魅せられるよう、メンバー一同張り切って参加させていただいております。今回 12 月 20 日（土）のイベントにおいて雨天のためやむを得なく中止という判断をしました。12 月 21 日（日）には天候もよく無事開催することができました。

### ■イベント当日の様子





## 今後の活動計画、目標、意気込みなど

### ■今後の目標・意気込み

今年は、学生プロジェクト candle night の立ち上げメンバーの卒業や 1 年生の大量加入により、活動方針がぶれてしまう恐れがあったため、メンバー一同、candle night とはどんな活動なのか、今向いている方向は正しいのかをもう一度考え直す年となった。今までの活動の二大イベントでもある atre 川崎での商業的なイベントだけでなく、我々の根本である省エネやエコについて多くの人々に確実に伝えていけるイベントにも力を入れていきたい。インスタレーションである空間演出は、あくまでも火の良さを通じて、来てくださった方々に省エネやエコに対してもう一度考えて頂く機会を与える“手段”であり、この空間演出が“目的”になってはいけなと考えている。そのため、今後もワークショップ（キャンドル教室）やチャリティーなどの活動を大切にしていく。今年の目標である、『大学内外との一体化』を中心に半年活動を行ってきた。今までの、大学周辺の方々を対象とした大宮校舎内での candle night だけではなく、上尾市原市団地での地域の方々を対象とした活動を行い、学生を中心とした若い世代だけでなく、より幅広い世代に candle night の活動を知って頂くことができた。

### ■今後の方針

2011 年度より学生プロジェクトとして活動を進めてきて、今年度の活動で 4 年目が終了し、活動の密度や精度・体制が整ってきたと感じている。今後も candle night という活動を続けていくために、文化会への参加を検討している。芝浦工業大学“candle night”という活動が今後も世間に認知され、芝浦祭、大宮祭、candle night という 3 大行事になるように精進していきたい。



今後とも candle night を宜しくお願い致します。